

64万市民の笑顔あふれるまちを目指して



船橋市長 松戸 徹

昨年来、新型コロナウイルス感染症は、多方面にわたって甚大な影響を及ぼしており、現在の感染状況を見ても未だ予断を許さない状況です。

本市では、これまで市独自のPCR検査体制の構築や、市内ホテルでの宿泊療養施設の開設、医療機関における病床の確保など、状況の変化に対応しながら様々な対策を講じてきました。これらの取り組みを迅速に実行する上では、長年築いてきた市医師会との協体制度及び中核市として独自に設置している保健所は大きなポイントとなりました。今後もワクチン接種の推進を図りながら、感染症対策に引き続き全力で取り組むと同時に、ポストコロナ時代を見据えたまちづくりを進めていかなければなりません。

現在、令和4年度から13年度までの第3次総合計画の策定を進めています。コロナ禍を

経て、社会のあり方や人々の意識は大きく変化している中で、持続可能で「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すSDGsの視点や考え方を市政に取り入れることは大切な要素と捉えています。

環境問題に対しては、地球的視野をもって取り組まなければなりません。東京湾に面している本市は、日本大学生産工学部と連携し、河川や海の水を採取し、海洋プラスチックごみの効果的な抑制対策を検討するため調査を進めています。

多様性を包摂していくことも重要なテーマです。性的少数者等の方々への社会的理解が進むよう、パートナーシップ宣誓制度を本年中に導入する予定です。

行政のデジタル化による市民サービスの向上にも積極的に取り組む一方で、デジタルデバインド対策も必要であることから、研修を受けた公民館職員が「スマホコンシェルジュ」となり、スマホのちょっとした質問に答えるサービスを試行的に実施しています。

本市は人口64万人を擁し、政令指定都市を除くと全国で一番人口規模の大きな市へと成長しています。市内にはまちづくりへの思いを持った方が大勢います。こうした全国に誇る「市民力」を活かして、人々の笑顔がまち中にあふれるまちを目指して、市政運営に取り組んでいきます。

新たな魅力を創出するまちづくり

本市の中央部に位置する海老川上流地区では、市立医療センターの移転や新駅誘致を伴う土地区画整理事業が検討されています。市では、同事業に合わせて、「ふなばしメディカルタウン構想」を策定し、医療と健康をテーマとしたまちづくりの考え方をまとめました。

市立医療センターは、東葛南部地域医療圏の三次救急を担っており、高度医療への対応など診療機能の充実を図ります。さらに、市民の健康づくりをサポートする企業誘致も進めていきます。常に新しい技術・情報が入る医療や健康を加えることで、進化し続けるまちを目指します。

また、大規模集客施設等が集積し、市内外から多くの人々が集まる臨海部では、JR南船橋駅前にある約4・5haの市有地を活用し、臨海部の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりを進めています。本事業では、土地のポテンシャルを最大化すると共に、公的負担を最小化するため、民間活力を活用しています。民間事業者は商業施設や集合住宅の整備に併せ、多目的に利用できる大規模な芝生広場やインフォメーションセンターを整備します。このまちづくりにより、賑わいの創出と回遊性向上を促し、臨海部の魅力をさらに向上させていきます。



南船橋駅前の芝生広場  
※イメージであり、関係機関との協議等により変更となる可能性があります。

船橋市児童相談所の設置

本市では、子どもや子育てに関する住民に身近な相談窓口として家庭児童相談室を設け、県市川児童相談所と連携し、虐待の未然防止や早期発見、早期対応等に取り組んでいます。



家庭児童相談室

県市川児童相談所は、船橋市・市川市・浦安市・鎌ヶ谷市の4市を管轄しています。相談件数は年々増加し、その約半数は児童虐待相談件数となっており、このうち本市の案件が約4割となっています。

また、本市の家庭児童相談室で受ける相談件数についても年々増加傾向にあることから、家庭児童相談室の職員体制の強化を図り、児童虐待等の問題を抱える家庭への相談や支援に努めています。

本市の家庭児童相談室と県児童相談所は虐待リスクの重さや求められる専門性により、役割を分担していますが、より迅速かつ切れ目のない支援ができるよう、双方の役割を一元化することが必要と考え、市独自の児童相談所の設置を目指し、令和3年7月に船橋市児童相談所基本構想を策定しました。今後、市独自の児童相談所を設置し、子どもたちの安全で安心な生活を守るとともに、健やかな成長と発達を支援していきます。

市役所/〒273-8501 千葉県船橋市湊町2-10-25 TEL/047-436-2111  
ホームページアドレス <https://www.city.funabashi.lg.jp>

船橋市データ

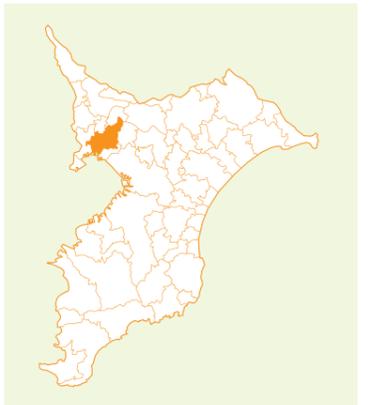


市章  
市の紋章は、船橋市の舟の字を図案化したもので、市の発展を象徴しています。

人口世帯数

人口 644,778人  
男性 319,266人  
女性 325,512人  
世帯 292,751世帯

2021年9月1日現在



船橋市初の国史跡が誕生

取掛西貝塚がこの秋にも船橋市初の国史跡に指定されることになりました。

取掛西貝塚は約1万年前の貝塚を伴う縄文時代早期前葉の集落跡で、東葉高速鉄道飯山満駅から徒歩約20分の場所にあります。

船橋市を含む東京湾東岸部は、特別史跡加曾利貝塚（千葉市）など、日本を代表する貝塚が多く存在します。その中で取掛西貝塚は最も古く、日本で初めて貝塚が形成された時期の環境や生活、文化を知る上で欠かすことができない、全国的にも重要な遺跡です。また、東京湾の恵みにより発展してきた本市にとっても、「ふるさと船橋」の原点ともいえる大切な遺跡です。

今後、学識経験者・市民の代表による委員会を検討を進め、令和5年度に取掛西貝塚の保存活用計画を策定する予定です。

遺跡は、本市の歴史や文化の成り立ちを知ることができるだけでなく、地域の将来の文化環境を形作る重要な資産であることから、多くの方に取掛西貝塚を知っていただくよう今後取り組みを進めます。



取掛西貝塚の貝層と動物骨集中